

平成 30 年 4 月 25 日

住民各位

東之町自治会屋台部

お知らせ（屋台新調について）

日頃は、東之町自治会屋台部活動にご理解とご協力、ご支援を賜わり誠にありがとうございます。

この度、東之町の宝である屋台を新調改修することになりました。現屋台は 1986 年（昭和 61 年）に新調されたもので、本棒には現在手に入らない樹齢 300 年以上の木曾檜の柁目が使用されています。当時の自治会や屋台部の財務状況を考慮すると、住民の負担また屋台部役員の負担は多大なるものでした。屋台蔵に掲示されているので機会あれば是非ご覧ください。先人達が苦勞して作り上げた屋台ですが、老朽化と安全面に不安があり新調改修することになりました。

日本の伝統建築である社寺建築を踏襲し、「貴重な本棒、脇棒」「江戸時代に作られた水切り金具」「播州うっとり彫り技法で叩かれた梵天や鍔金具」「檜一本彫りの大太鼓」そして「越中井波の名工 岩倉勘幸作の狭間」は再利用し、屋台の大きさについても現屋台と同じ大きさとします。

本棒・脇棒の高さや門のバランスを現代の練子の体系に合うように変え、木造部分に木曾檜を使用して軽量化を実現し、安全面を十分に考慮した次世代に繋げる屋台造りをいたします。

本年秋の例大祭では、白木にて屋台練出しを行い、来年 2020 年に漆塗り、鍔金具を取付けて完成となります。

役員一同、ご期待応えるべく全身全霊をかけて取り組みます。ご支援ご協力の程、よろしくお願い致します。

「令和元年東之町屋台新調改修事業」

・木造

大工 株式会社宮本住建 宮本昌治 姫路市白浜町
平成 16 年現代の名工・屋台大工受賞

・枘組彫刻（ますぐみ）

彫師 岩倉彫刻工芸 岩倉綾泉（りょうせん）富山県南砺市（旧井波町）
井波彫刻共同組合常務理事 岩倉勘幸次男

・黄金綱

縫師 絹常商店 小柴常正 加東市古瀬
江戸末期から続く名店の絹常六代目当主